



# 徳成寺 寺ともかわら版

第154号 2019年10月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

-発行責任者-

ラグビーのワールド杯が開幕し、日本代表も頑張っていますが、

住職

前回大会で大活躍した五郎丸さんも引っ張りだこです。五郎丸さんは

大山健児

ラグビーの魅力を、前回大会で強豪南アフリカに勝利した試合を引き

土守

合いに出して、試合に勝って有頂天になっていた日本チームに、真っ先に

大山ひとみ

「おめでとう」と祝福してくれたのが南アフリカチームだったと語っています。

何のためにラグビーをやっているのか、自分たちとの価値観の違いを感じたと

述べています。すなわち勝ち負けを超えた次元で取り組むものだと、肌で

教えられたのです。勝った負けた・損した得した、そんなみみっちい算盤



勘定を超えた、大いなるものに出会う魅力があると。人生もそうじゃないですかね。

## 大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっております、長男です。



お盆に引き続き、お彼岸参りでお世話になったご門徒様、ありがとうございました。9月の頭に友人の誘いを受けて高知へ旅に行ってきました。高知といえばカツオのたたきが有名ですが、我が家の食卓では夏になると頻繁に出てくるので、今更新鮮な気持ちでタタキを食べられないだろうと思っていました。しかし、高知で食べるタタキは今まで食べてきたカツオのたたきとは何だったのかと思わせられる程美味しかったです。百聞は一見にしかずとはよく言ったものです。

さて、今月でお寺での生活が年目に突入します。2年目を振り返ると、定期的な本山への研修会や、仏教に親しむ集いの開催など学びの機会を多く頂きました。学びの中では気づきが生まれ、気づきの中から価値観を大きく変えられるような事もありました。先程のカツオのたたきの話ではないのですが、どうせこうなるとか、まあこんなものだろうと思わず、1日1日に期待を込めて生活に臨んでいけたら良いと思います。3年目もどうかよろしくお願ひします。